

平成 22 年度日本モデル環境対策技術等国際展開検討会設置要綱

1. 検討の背景と目的

日本の経験に基づく技術・組織・制度をパッケージとして移転することにより、環境と共生しつつ経済発展を図るアジアモデルの持続可能な社会の構築を目指すため、環境省は、平成20年6月に「クリーンアジア・イニシアティブ」を策定している。この主旨に基づき、我が国の公害克服の経験を活かして、日本の環境汚染対策技術・モニタリング技術を、法制度整備・人材育成とともにパッケージにしてアジア諸国に普及・展開を図る「日本モデル環境対策技術等の国際展開」事業を平成21年度から実施している。

平成21年度事業の成果を踏まえ、アジア諸国における技術・制度・人材のパッケージ施策や環境対策技術等の国際展開方策、並びに本事業の下で実施されている中国・ベトナム・インドネシアを対象とした各国別協力事業の支援の在り方を検討するために、「平成22年度日本モデル環境対策技術等国際展開検討会」を設置する。

2. 検討内容

本検討会では、以下の内容について検討を行う。

(1) 対象国における技術・制度・人材のパッケージ施策の検討

二カ国間協力事業の対象国である中国、ベトナム、インドネシアにおけるパッケージ施策の検討にあたって必要となる情報（対象国の環境汚染問題等の現状、環境対策技術等のニーズ、環境に関する法令・制度、各国の取組及び日本国内の各主体、他国の主体による環境協力の内容）に基づき、環境対策技術等の普及・展開の観点に加え、環境省としての実施可能性や他ドナー機関による進行中・計画中・完了したプロジェクトとの相乗効果も考慮した重点的な取組分野の絞込み、各取組施策の具体化、施策実施に向けたロードマップ・実施体制に関する検討を行う。

(2) 環境対策技術等の国際展開方策の検討

日本の技術をベースにした環境対策技術・モニタリング技術をアジア各国に普及・展開させるための方策の中核として考えられる、日本の技術の持つ優位性が適切に評価されるための実証・認証制度について、対象国以外も含めたアジア諸国の現状やニーズを踏まえ、その制度のあり方、構築支援に向けたロードマップ、解決すべき課題について各国別の検討を行う。

(3) パッケージ施策の推進のための対象国との2カ国間協力事業の支援

①中国との協力事業：中国環境保護部との間で実施している窒素酸化物削減に係る協力に関して検討を行う（具体的には、総量削減目標を達成するために適用可能な具体的な対策技術や運転管理、モニタリング、あるいは当該対策技術等の導入による総量削減効果の定量評価に関する日中共同研究が実施される予定）。

②ベトナムとの協力事業：ベトナムに対応した産業排水分野における技術に対する実証・認証制度等の技術展開支援ツールの具体案の作成、パッケージ施策の具体化のため

めの特定の地方自治体（都市）・地域におけるフィールドスタディの検討を行う。

- ③インドネシアとの協力事業：インドネシアに対応した産業排水分野における技術普及・協力ニーズの把握、実証・認証制度等の技術展開支援ツールの基本的考え方に関する検討を行う。

3. 委員構成（敬称略）

本検討会は次の委員から構成される。（五十音順）

氏名	所属
王 青躍	埼玉大学大学院理工学研究科 准教授
奥山 正二	(社) 日本産業機械工業会 常務理事
北脇 秀敏	東洋大学 国際地域学部 教授
佐藤 健二	大阪府環境農林水産総合研究所 企画調整部 部長
鶴崎 克也	(社) 産業環境管理協会 環境管理部門 技術顧問
藤塚 哲朗	(財) 地球環境戦略研究機関 関西研究センター 参与
牧 葉子	川崎市環境局担当理事 環境技術情報センター所長事務取扱
松岡 俊二	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授
三笠 元	(社) 日本環境技術協会 常務委員
峯村 直志	(独) 日本貿易振興機構 産業技術部環境・エネルギー技術課長兼企画部主幹 (環境エネルギー関連事業担当)
森 尚樹	(独) 国際協力機構 地球環境部 次長 (環境管理グループ長)

なお、本検討会と関連して、2. で示した検討内容のうち、特に(2)(3)の事項に関する関係者間での詳細な情報・意見交換を目的とした、ワーキンググループ（以下、WGとする）を設置する。WGは、次の委員から構成される。

氏名	所属
王 青躍	埼玉大学大学院理工学研究科 准教授
奥山 正二	(社) 日本産業機械工業会 常務理事
鶴崎 克也	(社) 産業環境管理協会 環境管理部門 技術顧問
三笠 元	(社) 日本環境技術協会 常務委員

*なお、WG会合では、議題に応じて、毎回2名程度リソースパーソンを招き、情報提供、議論への参加を求める予定である。

4. 事務局

検討会及びWGは、以下に事務局を置く。

株式会社エックス都市研究所 国際環境政策チーム 担当：岡、坂本、木村
 〒171-0033 東京都豊島区高田2-17-22 目白中野ビル6階
 Tel 03-5956-7503 FAX 03-5956-7523

5. 検討会開催予定

検討会及びWG会合は、以下の予定で開催する。

開催回数：(検討会) 年度内 2 回、(WG会合) 年度内 3 回程度

開催予定時間：2 時間程度

開催場所：都内会議室

6. 検討内容等の公開等

検討会は原則公開で行うこととする。ただし、非公開を前提として収集した情報が記載されている資料、関係者と調整中の資料、公開することにより公正かつ中立な検討に支障を及ぼすおそれのある資料または特定の者に不当な利益もしくは不利益をもたらすおそれのある資料等について、座長の判断により公開しないことが妥当と認められた場合はこの限りではない。

また、検討会での発言をとりまとめた議事要旨は、委員の確認を受けて事務局が作成し、公開資料として取り扱うこととする。

なお、WG 会合は原則非公開で行うこととする。WG 会合での発言をとりまとめた議事要旨は、委員の確認を受けて事務局が作成し、非公開資料として取り扱うこととする。

7. 謝金・交通費

- 謝金 18,200 円/ 回
- 旅費は「国家公務員等の旅費に関する法律」に基づき支給する。